

医学学位プログラム シラバス Syllabus	09TE31 / 09TE33 ゲノム環境医学特論I ゲノム環境医学特論II	09TE32 / 09TE37 ゲノム環境医学演習I ゲノム環境医学演習II	09TE39 / 09TE38 ゲノム環境医学実験実習I ゲノム環境医学実験実習II
科目番号, 科目名 Course Number Subjects	09TE31 / 09TE33 ゲノム環境医学特論I ゲノム環境医学特論II	09TE32 / 09TE37 ゲノム環境医学演習I ゲノム環境医学演習II	09TE39 / 09TE38 ゲノム環境医学実験実習I ゲノム環境医学実験実習II
研究室学生を受け入れの可否 (○×)	○	○	○
他研究室学生との関わり Contact Information for Students from Other Lab	大庭良介, ohniwa(at)md.tsukuba.ac.jp	大庭良介, ohniwa(at)md.tsukuba.ac.jp	大庭良介, ohniwa(at)md.tsukuba.ac.jp
授業形態 Outline	講義、討論	演習	実験・実習
標準履修年次 Advisable years	1・2年次	1・2年次	1・2年次
実施学期・曜時間等 Semester, Day and Period	特論 I 春学期 / 特論 II 秋学期	演習 I 春学期 / 演習 II 秋学期	実験実習 I 春学期 / 実験実習 II 秋学期
開講場所 Room Number	セミナー室、Teams、他	セミナー室、Teams、他	セミナー室、Teams、他
単位数 Credit	I : 2単位、II : 2単位	I : 2単位、II : 2単位	I : 2単位、II : 2単位
担当教員名・オフィスアワー等 Faculty Members and E-mail	大庭 良介, ohniwa(at)md.tsukuba.ac.jp	大庭 良介, ohniwa(at)md.tsukuba.ac.jp	大庭 良介, ohniwa(at)md.tsukuba.ac.jp
学位プログラム・コンピテンステとの 関係 Competence (学位P共通)	【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【専門】研究課題設定力、先端研究遂行力、専門知識運用力 情報発信力、	【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【専門】知の創成力、先端研究遂行力、専門知識運用力 情報発信力、	【汎用】知の創成力、コミュニケーション能力 【専門】知の創成力、先端研究遂行力、専門知識運用力 情報発信力、
キーワード Keyword	科学計量学、科学社会学、科学技術史学、科学技術社会論、科学哲学、サイエンスコミュニケーション、人類学、教育工学、実践研究、ビジネス、東洋思想、伝統医学、武道、デザイン、アート	科学計量学、科学社会学、科学技術史学、科学技術社会論、科学哲学、サイエンスコミュニケーション、人類学、教育工学、実践研究、ビジネス、東洋思想、伝統医学、武道、デザイン、アート	科学計量学、科学社会学、科学技術史学、科学技術社会論、科学哲学、サイエンスコミュニケーション、人類学、教育工学、実践研究、ビジネス、東洋思想、伝統医学、武道、デザイン、アート
授業概要 Course Overview	学生が自らの最新の研究成果を健康情報総合学の視点から発表し、教員及び学生全員で、その研究結果と今後の研究方針に関する討論を行う。	学生が健康情報総合学に関する英文原著論文、英文レビュー、英文テキストを抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について、教員および学生全員で討論を行う。	研究の発想法、質的研究の方法論、量的研究の方法論、データサイエンスのアーローチなど健康情報総合学で必要とする基本的な方法論の原理と手法について実践によって学ぶ。
授業の到達目標 (学修成果) SBO(Specific Behavior Objectives)	専門分野に留まらない方法論・考え方を理解すること、および、以下の能力を育成することを目標とする。 1. 自らの発想により課題を抽出し、種々調査を実施し、学術研究へと展開させることのできる能力。 2. 自らの研究の目的、方法、結果とその意義、今後行うべき研究について発表する能力。 3. 専門分野の内外において、自らの研究を位置づけ、その特色および独創性について説明する能力。 4. 自らの発表内容に対する質問とコメントを理解し、討論の内容を以後の研究の質の向上に反映させる能力。 5. 他の学生の発表内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のための適切な質問や討論をする能力。 6. 目的や課題に応じた適切な研究方法を提案・実施する能力。 7. 他のメンバーと共同して研究を遂行する能力。	自身が興味ある研究課題の世界的な研究状況を理解し、他者と共有する能力を育成することを目標とする。 1. 文献検索システムやインターネットを用い、必要とする論文・レビュー・本を選ぶ能力。 2. 選んだ論文・レビュー・本を読んで理解し、定められた時間内にその概要を他の学生に説明する能力。 3. 他の学生の発表を聞いて理解し、疑問点・意義・問題点について討論する能力。	健康情報総合学の研究を進める上で必要となる発想法、研究の方法論等の基礎を学ぶ。 1. 調査研究(オンライン調査(文庫・データベースなど)、フィールド調査(参与観察・インタビュー等)、データサイエンス調査(プログラミング、統計処理等)、アンケート調査など)を実施する能力。 2. 上記調査結果を複合的に組み合わせ、合理的な思考法のもと、自身の研究を組み立てる能力。 3. 社会実践のために必要な法律・倫理・慣習・ビジネスなどの視点から自身の研究を語ることのできる能力。
授業計画 Course Schedule	原則として毎週月曜、19:00-22:15(予定) 学生1名が英語により自らの研究の進展を発表し、その内容に基づいて、教員および学生全員が英語あるいは日本語により討論を行う。	原則として毎週木曜、19:00-20:15(予定)。 学生1名が英語により自らの文献を紹介し、その内容に基づいて、教員および学生全員が英語あるいは日本語により討論を行う。	集中
第1回(月日、時間)担当教員名 講義内容など 履修条件	なし	なし	なし
成績評価方法 Grading Philosophy	「授業の到達目標」に挙げた各項目の達成度に基づいて評価する。すべての項目を達成していればB以上と判断する。いずれかの項目を顕著的に行っていればA以上と判断し、特に優秀(上位10%)と判断されれば A+と評価する。	「授業の到達目標」に挙げた各項目の達成度に基づいて評価する。すべての項目を達成していればB以上と判断する。いずれかの項目を顕著的に行っていればA以上と判断し、特に優秀(上位10%)と判断されれば A+と評価する。	「授業の到達目標」に挙げた各項目の達成度に基づいて評価する。すべての項目を達成していればB以上と判断する。いずれかの項目を顕著的に行っていればA以上と判断し、特に優秀(上位10%)と判断されれば A+と評価する。
学習時間の割り当て及び授業外における学修方法 Learning method	講義と討論 100% 授業外における学修方法: 学修内容を再確認しながら自らの研究活動を行う。	演習(セミナー) 100% 授業外における学修方法: 学修内容を再確認しながら自らの研究活動に活用する。	実験実習 100% 授業外における学修方法: 学修内容を再確認しながら自らの研究活動に活用する。
教材・参考文献 Textbook	特に定めない	特に定めない	資料を配付する
単位取得要件 Requirement to earn credit	単位取得要件: 80%以上の出席 他研究室の授業への5回以上の出席	単位取得要件: 80%以上の出席 他研究室の授業への5回以上の出席	単位取得要件: 80%以上の出席 他研究室の授業への出席は求めない
その他(受講上の注意点等) Notes	なし	なし	なし
他の授業科目との関連	ゲノム環境医学演習I / ゲノム環境医学演習II ゲノム環境医学実験実習I / ゲノム環境医学実験実習II	ゲノム環境医学特論I / ゲノム環境医学特論II ゲノム環境医学実験実習I / ゲノム環境医学実験実習II	ゲノム環境医学特論I / ゲノム環境医学特論II ゲノム環境医学演習I / ゲノム環境医学演習II